

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：ベネッセ 綱島台保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：阿部 智子	定員（利用人数）：60名（64名）
所在地：〒223-0054 横浜市港北区綱島台17-23	
TEL：045-534-0351	
ホームページ：https://hoiku.benesse-style-care.co.jp/	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日 2017年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ベネッセスタイルケア こども・子育て支援カンパニー		
職員数	常勤職員：17名	非常勤職員：8名
専門職員	保育士 15名	看護師 4名
	栄養士 2名	調理師 1名
	中学校教諭免許 1名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室4室、調理室1室、職員休憩室1室、事務室1室、医務室1室、予備室1室	

### ③理念・基本方針

#### 【基本理念】

『その子らしく伸びていく』

#### 【保育理念】

「よりよく生きる力（Benesse）の基礎を育てる」

いきいきと健やかに毎日を過ごし、自信と意欲を持って未来を生きる子どもを育てます。

#### 【保育の基本方針】

◆子どもを一人の人間として尊重します

①子どもの『個性と人格を尊重』し、主体性を育てます。

◆子どもが主体性をもって安定して生活し、成長できる環境を創造します

②自然な生活の営みの中で、子どもが「安定感・安心感・落ち着きを持てる室内環境」をつくります。

③深い信頼関係に根ざした「豊かな人とのかかわり」を重視します。

④身のまわりの「社会・自然を通しての学び」を大切にします。

#### 【保育目標】

①自分で考えすすんで行動する子ども

自分からすすんで物事に取り組む態度をもち、意欲をもって最後まで頑張る子ども

②友だちと楽しく遊ぶ子ども

さまざまな人とかかわることの喜びを知らながら、楽しく遊べる子ども

③感性豊かな子ども

さまざまな発見と感動を味わいながら、自分らしさを表現できる子ども

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

0・1・2歳児の乳児クラスは学年別保育を行い、担当制を取って特定の保育者との信頼関係を大切に、人との関りの基礎を育むことを大事にしています。3・4・5歳児の幼児クラスは異年齢保育を行い、子ども同士の関りを通して、思いやり・協力する楽しさ・互いの個性を認め合い、自己発揮できる力を育むことに注力しています。

子どもたちの「やってみたい」という好奇心を大人も一緒に楽しみ、「こうやったらどうなる？」の子どもの実行・実践を見守り、子どもの得た学びを一緒に喜び楽しみ、次への糧となる事を見守り応援しています。そういった保育を毎日ドキュメンテーションで保護者の方に発信・共有しています。

綱島公園で見つけた小さな赤い実で、画用紙にお絵かきを楽しむ1歳児。たくさん集めたどんぐりを煮出して色水研究所を始める幼児クラス。「保育園に水族館を作りたい」と寝る場所がなくなることも…。無限に広がる子どもたちの興味関心事を保育園職員全員で真剣に楽しんでいます。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月12日(契約日)～2022年3月8日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	1回

#### ⑥総評

##### ◆特に評価の高い点

##### 1. 子どもの「やりたい気持ち」を大切にした保育をしています

園は、保育理念に則り子ども主体の保育の実践に努めています。

保育士は、子どもの言葉や表情、仕草などから子どもの興味や関心、思いなどを汲み取り、一つずつ言葉にして確かめ、子どもが言葉で自分の思いを表出できるように支援しています。子どもの何気ないつぶやきも丁寧に拾い上げ、子どもの疑問や発見を共有し、できたことを共に喜び、子どもとの信頼関係を築いています。保育士にたくさん話しかけられ、受け止めてもらうことを通して、子どもたちは素直に自分の思いを表出していて、幼児になると自分たちで話し合っ活動内容を決めたり、友だち同士のもめ事を解決したりできるように育っています。

散歩で見つけた花桃の実で1歳児がお絵描きをしたり、どんぐりの実の煮出し汁の色に幼児が興味を持ったことをきっかけに色々な野菜を煮て色出汁の研究をしたりと、子どもの「やりたい気持ち」を保育活動に広げていきます。このような経験を通して子どもたちの興味や関心が様々な方向に広がっていて、観察時にも2歳児が日向と日陰の寒さの違いについて話したり、3歳児の積み木の神社に5歳児が賽銭箱やお守りを作ったりする姿を見ることができました。生活面においても、お箸免許や家庭での歯磨きを奨励するための歯磨きカードなど、子どもが自分からやりたいと思い、取り組めるように工夫しています。

このような働きかけの中、子どもたちは自分の思いを自由に言葉や表情で表現し、主体的に活動に取り組み、様々な学びを得ています。

##### 2. 保育士は、目指す方向性を共有し、子どもが安心・安全に園生活を楽しめるように支援しています

年度始めに理念や方針を確認するとともに、職員会議や研修で具体的な事例をあげて取り上げ、目指す方向性を確認しています。クラス会議、職員会議などで一人ひとりの子どもの様子について話し合い、保育内容が理念や方針に沿っているか確認しています。研修にも力を入れ、月2回の園内研修の外部講師によるドキュメンテーションや保育WEBの研修では、具体的な事例をあげて検討し、理解を深めています。

安心・安全に目指す保育を実践するために、安全対策にも力を入れ、主任、看護師、保育士によるリスクマネジメント委員会が中心となって、リスクの要因分析や研修等を行っています。毎月、一人一枚のヒヤリハット報告書の記載を義務付け、職員会議で事例検討を重ねることで職員の安全への意識が育っています。

このような取り組みを通して目指す方向性を確認し、保育士は連携して保育を行っています。

### 3. 保護者との関係作りに力を入れています

園は、積極的に保護者に園の取り組みを伝えることで、信頼関係を築けるようにしています。

全園児連絡ノートを用いて保護者と情報交換するとともに、朝夕の送迎時には保護者と積極的にコミュニケーションを取り子どもの様子をエピソードとともに伝え、保護者の相談にのっています。全クラス、ドキュメンテーションを用いて、子どもの姿や活動の目的、取り組む子どもの過程などを写真とともに分かりやすく伝え、保護者が園の取り組みを理解できるようにしています。幼児は、日々の子どもの作品を写真に撮ってまとめた作品集も置いています。年2回の懇談会や保育参観などの保護者参加行事も実施しています。コロナ禍のため、中止になるものもありますが、オンライン懇談会、のぞき見参観（ドアの隙間や2階テラスからの参観）、行事のビデオ配信など工夫しています。このような取り組みの結果、保護者の満足度は高くなっています。

#### ◆改善を求められる点

##### 1. 中長期計画に基づいた事業計画を作成し、職員と共有していくことが期待されます

法人では、中長期的なビジョンを明確にした事業計画を策定しています。保育内容については、園で3年間の中期計画および年度の運営計画を策定しているものの運営については記載がなく、法人の中長期ビジョンに基づくものともなっていません。また、進捗状況を確認するための具体的な数値目標等の設定もされていません。今後は、運営面も含めた園としての事業計画を策定し、職員と課題を共有していくことが期待されます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価の受審は『保育園の役割』や『保育』を様々な面で振り返り、意見を交わす良い機会となりました。

「保育内容」に関して、子どもたちの生き生きとした姿から「保育」の取り組みを評価頂き、大変励みになりました。これからも、子どもたちの「つぶやき」を拾い「やってみたい」を大切に、「子どもに寄り添った保育」を職員みんなで学び、深めてまいります。そして、保護者のみなさまと「子どもたちの得た学び」を共有し、一緒に子どもたちの成長を応援できるよう励んでまいります。

今後の課題として「保護者の参加や交流」「地域との交流や福祉施設としての保育園の役割」に関しても、コロナ禍という状況下ではありますが、職員みんなでアイデアを出し合い時代にあった参加・交流・支援を考え取り組んで参ります。あわせて、「防犯・災害」の見直しを定期的に行い、更に、子どもたちの安全を図るとともに保護者の皆さまに安心して頂けるよう努めてまいります。

自園の「強み」と「もう一歩」を自分たちで確認出来たことで、保育所職員としての社会福祉に関する意識向上に繋がったように感じています。

第三者の方に客観的に分かりやすく評価頂いたことは、今後を歩みだす大きな力になりました。ありがとうございました。

保護者のみなさまにおかれましても、お忙しい中アンケートにご協力いただきましたこと感謝申し上げます。

ベネッセ綱島台保育園  
園長 阿部 智子

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり